

「放射線化学」原稿の書き方

「放射線化学」投稿規程（平成 23 年 9 月 30 日 編集委員会制定）に基づき、記事の様式、投稿手順その他の事項の標準化をすすめるために、「『放射線化学』原稿の書き方」を制定します。

編集委員会では、TeX での原稿作成を推奨しております。投稿規定、TeX 関連マニュアル（インストール方法含む）および TeX のテンプレートを下記の URL からダウンロード頂けます。

http://www.radiation-chemistry.org/tmp_dl.html

TeX の利用が困難な場合は、担当編集委員および編集主任にご相談ください。

「放射線化学」の記事は表 1 に示すように、「学術記事」、「準学術記事」、「その他」の 3 つに大別されます。それぞれにおいて必要な情報が異なるため、下記にその詳細を記します。

1. 著者情報

1-1. TeX で原稿を作成される場合、info.tex ファイルに次の事項を記入ください。Microsoft Word（以下 Word）等にて作成される場合は、同様の情報を原稿ファイル内に記入ください。

- i) 所属（日本語・英語）・氏名（日本語・英語）
 - TeX の場合、所属の日本語名と英語名は「!」で区切ってください。
 - 「その他」カテゴリの記事では所属と氏名の英語名の記入は不要です（表 1 参照）。
- ii) 略歴
 - 「学術記事」カテゴリの記事のみご記入ください（表 1 参照）。
 - 著者の略歴、専門、（差し支えなければ）趣味等をお書きください。
- iii) e-mail アドレス・住所・電話番号
 - 「その他」カテゴリの記事では記入不要です（表 1 参照）。
- iv) タイトル（日本語・英語）
- v) アブストラクト（英語および日本語）・キーワード（英語、5 つ以内）
 - 「学術記事」カテゴリの記事のみご記入ください（表 1 参照）。
 - 英語アブストラクトは刷り上がりで最大 1/4 ページまでとします。日本語アブストラクトは誌面には掲載されませんが、web にて公開しますので併せてご準備ください。
 - キーワードは、例えば、radiation chemistry は 1 つと数えます。
- vi) 顔写真ファイルについて
 - 巻頭言の記事のみ必要です（表 1 参照）。
 - 顔写真ファイルを PDF 形式または EPS 形式でご準備ください。
 - TeX の場合、読み込む顔写真ファイルの指定は、info.tex ではなく RCTypeset.tex の中で行ってください。詳細は編集委員までお問合せください。

1-2. 「本会記事」等には、この著者情報の規定は適用しません。

表 1 記事カテゴリによる違い（必要な情報など）

			学術記事	準学術	その他
		巻頭言	展望・解説 とびっくす 受賞記事 特集記事 連載講座	討論会の話題から 放射線利用紹介	ニュース お知らせ 海外レポート 寄稿 会員のページ ティータイム 書評
顔写真		○	—	—	—
タイトル・ 著者名・所属	日本語	○	○	○	○#
	英語	○	○	○	—
アブストラ クト	日本語	—	○※	—	—
	英語	—	○	—	—
キーワード	英語	—	○	—	—
略歴	日本語	—	○	—	—
図表の言語		—	英語	英語	日本語（英語も可）
査読		—	有り	—	—

※ 放射線化学会 HP 掲載用に必要

住所・電話番号の情報は不要

2. 本文

TeX を使用される場合、text.tex ファイルに、下記ならびに“会誌用 TeX テンプレートの使い方簡易マニュアル”を参考に原稿を作成ください。Word 等を使用される場合は、下記にご注意いただいた上で原稿を作成ください。

- ・読点と句点には、全角カンマ「，」、全角ピリオド「．」をそれぞれ用いて下さい。
- ・英数字は半角で入力ください。
- ・物理量の表記は原則 SI 方式です（例：1 MeV、※1 [MeV] ではない、変数の次元の場合には L [単位] など）。また、数値と単位の間半角スペースを入力ください。
- ・図、表、写真中の文字は、「学術記事」および「準学術記事」カテゴリの記事では英語を、「その他」カテゴリの記事では日本語（もしくは英語）を使用ください（表 1 参照）。キャプションも同様です。
- ・原稿は日本語または英語で作成ください。
- ・原稿の作成では、明瞭かつ適切なことば遣い（日本語では、常用漢字・現代仮名遣い）にご留意ください。

3. 図の画像ファイル

TeX や Word 等といった原稿作成方法によらず、個々の図のファイルを十分な解像度でご提出ください。刷り上がりで最低でも 300 dpi が確保できる図をご準備ください。刷り上がりでの解像度が 600 dpi 程度となることを推奨しております。なお、電子出版のため図はカラーで結構です。

4. 参考文献

TeX を使用される場合は bib.tex ファイルに、Word 等を使用される場合は原稿ファイル内に、以下の例に倣ってお書きください (Elsevier の Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section A または B の書き方に準じています) .

なお、著者は全て記載し、et al. を用いた省略はしないでください。英文の氏名については、Family Name 以外はキャピタル+ピリオドとして省略ください。

例：

<論文>

著者名に続いて、ジャーナル名、号、(年号)、最初のページ、ピリオドです。

- 1) J. Smith, J. Doe, J.Q. Public, Phys. Rev. Lett., 100 (2013) 123456.
- 2) F. Fisteku, J. Dupont, Radiat. Phys. Chem., 200 (2013) 999.
- 3) 田中一郎, 佐藤次郎, 放射線化学, 95 (2013) 53.

<書籍>

著者名に続いて、書籍のタイトル、edition、出版社、都市、年号、ピリオドです。

- 4) A.M. Coghill, L.R. Garson, The ACS Style Guide, third ed., Oxford University Press, New York, 2006.

<書籍の特定の chapter>

著者名に続いて、chapter のタイトル、in: 編集者名, (Ed.) (複数人の場合は (Eds.)) , edition, 出版社、都市、年号、最初と最後のページ、ピリオドです。

- 5) P. Murray-Rust, H.S. Rzepa, Markup Languages and the Datument, in: A.M. Coghill, L.R. Garson (Eds.), The ACS Style Guide, third ed. Oxford University Press, New York, 2006, pp. 87-100.

<特許>

著者名に続いて、特許のタイトル、特許番号、月、日、年号、ピリオドです。

- 6) J. Borg, V. Pavardenis, Mass Spectrometer, US 1,234,567, July 3rd, 1975.

5. 投稿

原稿のファイルを担当編集委員宛に電子メールへの添付でお送りください。サイズが大きくメール添付が難しい場合（概ね 10 MB を超える場合）は個別にご相談ください。送って頂くファイルは次通りです。

<TeX で原稿を作成された場合>

RCtypeset.tex, info.tex, text.tex, bib.tex, 顔写真（巻頭言の場合のみ）や図の画像ファイル, 変換後の PDF

<Word 等で原稿を作成された場合>

Word 等の原稿ファイル, 顔写真（巻頭言の場合のみ）や図の画像ファイル, 変換後の PDF

注 1) Word 等の原稿ファイル内に図が内包されている場合でも, 図の画像ファイルは別ファイルとしてお送り下さい。

注 2) 図のファイル形式は, PDF または EPS 形式として下さい。

6. 著作権について

著作権の譲渡承諾書(承諾書, 兼, 誓約書)は執筆を承諾した時点で速やかにお送りください。本誌掲載後, 図表を含めた内容を他出版物に転載する場合は, あらかじめ日本放射線化学会より転載許諾を得る必要があります。また, 本誌向けの執筆において既発表の内容を含む場合, 著者自身が著作権を有しない図などを転載・引用する際の「転載許諾手続き」および「許諾条件による転載許可明示(不要の場合除く)」は著者ご自身で行うようお願いいたします。なお, 後者の「転載許可明示」の記載に当たっては著作権者(出版元など)指定の書式に従って下さい。

例 1 Figure 1 *****. Reprinted from Ref.X, Copyright (20XX), with permission from *****.

例 2 Figure 2 *****. Reprinted with permission from *****.]